卅一日夕刊
一日刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人　福島縣石城郡平町[illegible]町十四
印刷所　[illegible]
發行所　福島縣石城郡平町[illegible]町十五　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金[illegible]
廣告料一行[illegible]
▲日刊（日曜、祭日）休刊

年收二千圓以上の家主
平町に三十人ある
一萬圓以上は五名

平町をはじめ石城郡內各町村における第三種所得稅及營業收益稅の納稅者中貸家、貸地を有するためこれが課稅を受けつゝあるものは最近の調査により人員約六百七十名、その總收入年額貸地三萬九千九百三十五圓で前年の二萬四千七百三十二圓に比し一躍一萬五千二百三圓卽ち六割一分四厘の急激なる增加を示したは從來の借家人中新たに土地を借受け自力或は他に何等かの方法を講じて家屋を新築した者が續出したる結果と見るべく更に貸家の方は直にこれと因果相通ずる程に減少はしてゐないが現在の三十九萬六千七百七十三圓に對し前年は實に四十一萬七千七百八十三圓で現在を超ゆる事二萬千圓余に上りこの減少率は五分といふ事になつてゐる而も不況の折柄とはいへ人口の增加その他町勢の發展に伴ひ各種の支出は逐年上向きの趨勢を示しつゝあるに反し單り貸家の上に對してのみ反對の傾向を示したのは前記の如く借家人より借地人への道程を辿り從來の店子が住宅の所有者となつたものある事もその一因ならんも不況による空家の增加もその原因をなしてゐるは蓋し否み難き事實を見ねばならない、何れにせよ現在の平町には貸地、貸家の年收二千圓以上のものが約三十人で中には一萬圓以上のもの五名ありこの大地主、大家主のみにて年收二十萬圓の巨額に上つてゐるので今後における店子の減少はこの方面の家主にとつて一大恐慌なるを失はない。

▲夏井助役改選　石城郡夏井村役場助役は昨年來補欠となつてゐるが來る三月末日根本村長の改選が行はれるため村當局では村長改選前に助役を決定せんとしてゐるが各村議間には村長改選後に決定すべきであるとの意見が多數を占めてゐるから結局三月の村長改選後となる模樣である。

▲兵事々務研究會　植田署管內兵事々務研究會は廿九日午後一時より植田署に開催召集その他諸般事務に就き研究を遂げ協議事項に移つたが軍事思想普及のため三月三日植田小學校に軍人講話會を開く外會員に對し五十圓以內の豫算で記念品を贈ると共に二月下旬管內より平の在隊者に慰問狀を發する事を決議午後四時散會した。

大浦消防紛擾
平山課長が仲裁

幹部人選の問題から過般來水谷四倉署長を中心として紛紜を續けて來た石城郡大浦村字大森の消防組紛擾事件は消防組員の任免が署長固有の權限に屬し敢て所謂小姑的なる他方面の制肘干涉を受くべきものでないとする水谷署長の態度嚴然としておかすべからざるものあつたゝめ容易に所期の圓滿解決を見るに至らず時節柄前途の成り行きを憂慮されてゐたが問題は最近に至つて前記署長の方針とこれを氷炭相容れざる一部の感情とその正面衝突が一層露骨となり地方のため一日もこの儘に放置する事が出來ぬ情勢となつたので平山保安課長は二十九日四倉町に至り水谷署長及最初よりこれが調停の勞をとつた一二有志とも會見懇談の上三十日四倉署において關係者と會見する手筈となつたから幹部の人選等に就いてある種默契的の條件が附せられるかどうかして問題は今回こそいよ／＼その落着を見るものと見るものと觀測される。

▲海軍志願兵　石城郡植田町及勿來町の本年度海軍志願兵應募者は植田五、勿來七名で前年度より成績良好であると。

三丁目の初日福運者

平町三丁目の聯合賣出し初日に當籤した福運者左の如し。
▲一等平窪村佐藤政次郎▲二等平町南町藤岡▲三等小川村佐藤　泉村平野

こゝを先途と
舊暮の賣出し
彩旗の間を潜つて
◇……町內一巡記

平の街々にもあはたゞしい舊歲末が訪れて來た。歲の暮れてゆかうとする氣分、それは舊歲末に重きをおく平地方にとつて一つの淋しさではあるが、然し商人にとつては歲末こそ奮闘と緊張の時である。ひた押しに押し通した不景氣をこの舊歲末と、來る舊正月二日の初賣出しでせめて幾分でも取りかへさうとして平全町の商店は躍起となり、夫々暮らしい裝ひと計劃を凝らし街上の客を吸ひ寄せんとしてゐる。紅白の鯨幕をあふる寒風に小きざみに步む師走の人の氣せわしい步みぶりにも見える町の景氣不景氣はどうか……？彩旗や「大賣出し」の下を潜り乍ら町內を一巡して見た……いつも乍ら自動車、馬車、自轉車の交響樂の中に人々の跫音の絕え間ない本町通り、何と言つてもこゝぞ賣出しの本場で一丁目から四丁目迄は殆んど町內結束聯合して福引景品付大賣出しを開始してゐる。各町の景品引換所とも常管その他景品の山をなしてゐるのも景氣が好い。田町も小本町通りに負けじと聯合賣出しを開始するなど舊歲末ならでは見られぬ賑やかな氣分が漂つてゐる。

他人の名義で
金を借りる
文書僞造の告訴

平町田町六十番地荒川種政（四九）は昨年六月七日平町田町丸新館に止宿してゐた東京市本鄕區眞砂町木村武次郎が金が入用なので一百圓を丸新館主人丸山ウメから借りる際保證となりその抵當物件として兼てから懇意にしてゐた草野村大字泉崎本田政雄の公傷年金額面百六十四圓の證書を入れて貰つたが、本田が最近になつて年金の證書が入用になつたので丸新館に返してくれと申込んだ處、當時の約束では證書を貸したゞけであつたのが借用證書の借入は自分の名義になつてゐるので大いに驚き平署に文書僞造印鑑盜用の告訴をなした。

昨夜
飯野の火事

三十日午後十一時半頃飯野村大谷川瀨農山崎龜男方から發火し住家二棟非住家一棟を燒いたが原因は妻ヤイ（二六）が竈の火を不始末にし爲めで損害五百廿圓

小名濱商港
國庫補助申請

二年度の本縣通常縣會を通過した小名濱港修築は不幸三年度に於て政府豫算の不成立から止むなく既定計劃より一ケ年繰延べの四年度から九年度までとなつたがこれに對する國庫補助は政府が今議會に提案今後政局の變動ない限り通過確實と見られて來たので縣では二十日總工費一百八十八萬圓に對する國庫補助百七十八萬圓の交附申請並に工事施行認可を正式に內務省宛禀請した、尙ほ同港修築と共に本縣の大事業である指定縣道の自動車道路改良工事に對する國庫補助も昨年から交附を受ける筈であつたが前述の理由で實現されず縣起債の範圍內に於て工事を施行して來たので同じく三、四兩年度の該補助交附方を正式に併せて同日申請した。

坪四圓では
賣りたくない
平町役場敷地

平町役場新築は明年度豫算に計上されこれが財源となるべき現廳舍敷地、水道課敷地、舊平陽女學校跡約一千坪の處分並に新廳舍敷地買收が決定すれば直ちに直上する豫定で敷地買收を急いでゐる、結果大体坪三十圓見當で、近く賣買契約が成立する模樣であるため殘る問題は新敷地の買收にあるがこの買收敷地は坪四圓見當に見積つてゐる處から買收交涉は目下頓挫を來してゐる、右に就て某地主は語る

新廳舍敷地は平町の場末に當るが同方面は今や片倉製糸會社が出來又第四小學校も新築されんとして益々有望視されて居る處である、期うした事情の下にある土地を僅か坪四圓で買ひ度いとは役場も少し無理である、然も現廳舍敷地は二十圓と云ふ高價で賣り買ふ處は場末とは云へ四圓とは余り虫の良い相談である、兎に角一般地主の意向は坪五圓を下つては買收に應じないと云ふ事になつて居るから買收交涉は相當長引くであらう。

印刷物は　加納活版所

死人を活かし
財產を賣る

植田警察署では廿八日來渡邊村助役富岡某を中心とする某大事件のため活動中なることは既報の如くであるが、同助役が中心となつて既に死亡した同村の某財產家を生きてゐる如く裝ひ同人の印鑑を僞造し公證役場に屆出でその財產を東京方面に賣り込みその金をまんまとせしめた事件が發覺植田署の活動となつたもので連類者も多數ある見込であるが同助役は元本縣巡査を拜命したことがある者であるこ

繋いである馬を盗み 賣り飛ばす

前科十二犯の男捕はる

大浦村大字上仁井田字横川生れ當時平町仲町旅館大竹屋方止宿前科十二犯關口友吉（五〇）は去る十五日午前九時頃平町仲町二番地大竹清治方に繋いであつた牡馬（十四才）を盗み同日午前十一時頃その馬を曳いて平窪村大字上平窪牛馬商鈴木米次郎方に至りその世話で附近の薄葉卯之雄所有青毛の馬時價三十三圓のものに五十圓をつけさせて盗んだ馬と交換する事とし手金として二十圓だけ受取り十八日薄葉方で交換した馬を平町堤ノ内牛馬商竹島清次郎方に三十圓で賣りつけた事發覺し關口友吉は二十六日平署に捕はれたが馬鹿を見たのは薄葉で二十圓の金を取られた上自分の馬は撲殺され泣面に蜂の態である。

勿來町の 養鷄組合

創立後日淺きに縣下の優良組合となり更に縣下一を誇らんとしてゐる石城郡勿來養鷄組合は從來の敷地一段三畝に既報の如く一段七畝を增加して三段歩となし種禽舍、育雛舍、飼料場等の增築工事完成を見た、更に昭和八年度までに三千坪に敷地を擴大して八千羽の種禽及採卵鷄を飼養する豫定で三千坪を種禽用に二千坪を採卵鷄用の使用同時に組合を石城郡内を打つて一丸とした石城郡養鷄組合となすべくこれに伴ひ東京に採卵部を設置して産卵を直接販賣すると共に廢鷄處分をも採卵部で行はしむるの大計劃を樹て昨今その準備に着手せるを以て模範組合として種禽種卵等の分讓者殺到してゐるが各方面より多數の視察者ある今日いよ〳〵期待裡に凝視されてゐる。

自動車 便所に闖入

内郷村磐城炭礦貨物自動車を石田建治（二四）が運轉し二十九日午後三時半頃内郷村大字御厩を進行中誤つて鈴木松太郎方の便所に闖入し建物を破つたので平署で取調中である。

ハガキ集

—（投書歡迎）—

▲あなたマス〇〇〇〇〇〇〇激しいある……それよろしくない……神經衰弱のもとある……私チャルメラ吹く是れ商賣ある……あなたガンガンはたくよろしい……商賣せぬとめし食へないあるからな……（チャルメラ生）▲山本と云ふ學生、貴樣用もないのにちよいちよい〇〇病院へ行つて看護婦にからかつて居るとは實に見上げたもんだね、其の心掛をいつまでも忘れるな（山の神）▲日中だつて寒いのに明け方の三時頃「如何に寒聲をとるとはいひながら」年端もゆかぬピンコ共を連れてワザ〳〵橋の上まで出しやばらなくてもよさそうなものだ、黎明の極寒に彼女等身ぶるい涙を流して唄つてゐるのを見ては胸がはりさける樣だ、いかに貧苦に攻められても孫子の代まで藝妓にだけはしたくねえ。（子を持つ親）▲山形家のいろ子さん、お前はこの頃大變悶えてゐるんぢやねえか思ひ焦れてゐる人でもあなら俺に打ち明けろ、前借も拂つてやらうし、マブがあるなら添はしてもやらう（大石由良之助）▲平町のKさん、きのふの朝も會ひましたね、明日の朝から「お早う」といひますからね（道で會ふ生）▲二十八日は大變吉日ださうで俺が知つてゐるだけも婚禮が七八件に上つた、あのさんざめきを聞くと何んだか俺の心は淋しくなつた、岡惚のみつ子もその中に含まれてゐた、さぞあの夜は嬉しい夢を結んだらう（孤劍生）▲活動寫眞館内で若い男女が風紀を紊すのには全く驚いた、二十七日の夜まだ肩あげも取れぬ樣な女工二人連れが不良青年らしい二人連れに見ン事口說き落され平氣で？？にはイヤハヤゆだれが流れたワイ（××生）

鳥季節御料理
よせなべ類
天丼
仕出しは迅速配達致します
平町南町平舘隣り
鰻蒲燒 魚榮
電話四二四番

平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話六八番

雨露に晒す程 強く太る煙突
煙突は『朝日』
石綿セメント製
朝日煙突
絶對にはぜない！やけない！くさらない！
経済的で火災の心配がない
特約店
久釜屋商店
電話 九九三一

變つた賣出し（景品なし）
製造家より需要家へ原價提供（但し賣出中）
◎期日二月十日より十日迄十日間
その一例
保險附掛時計……三圓五十錢
保險附目醒時計……一圓九十錢
硝子側置時計……二圓
平町三丁目
電話十九番
大谷時計病院

田町睦會聯合
歳末福引大賣出し
新二月一日より七日間
お買上金高壹圓毎に福引券一枚進呈
景品種目
特等 別製桐箪笥
一等 桐箪笥
二等（九升樽）醤油
三等 メリヤスシヤツ
四等 桐下駄
五等以下七等迄實用品が澤山ございますゼヒお買上げを
引換場所 福住旅館

舊十二月廿一日（一月卅一日）ヨリ
舊十二月廿八日（二月七日）マデ
八日間
四丁目聯合
福引景品付大賣出し
御買上一圓毎ニ福引券一枚呈上
景品引換場所 和泉屋旅館
景品引換時間 毎日午前九時ゟ午後五時迄
景品種目 桐箪笥、反物其他山の如し

舊年末謝恩最終特別興行
◆二月一日より◆
主演 山本嘉一、河部五郎、大河内傳次郎
續水戸黄門 二十卷 全部上映
◆新舊合同オールスターキャスト
備中松山の城を跡に再び旅に向へる水府公……六十余州にあます所なき草鞋のあとは愈々續廿卷により全てを物語り盡さる!!
▽松竹キネマ獨占悲曲 原作水島あやめ女史
高尾光子、藤田房子、小櫻葉子、蒲田名子役全部出演
天使の罪
純眞にも愛らしき少女達の寂しい……それは世にも哀れな一つの生を描いたものが……本篇である!!
普通席金十錢 一等三〇 特等五〇
平舘

生産者より需要者へ
＝この値段でいかゞ!!!
白米一升二八錢ゟ 醤油一升四八錢ゟ
清酒一升八〇錢ゟ 木炭雜丸正味四貫目
味噌一貫目五八錢ゟ 一俵一圓
安くても品の好いのが當店の强み
例ひ一升、一合でも迅速に届けます
マルミヤ廉賣部
平驛通（八幡屋前）

平町役場前
福山支店